

## 「省エネルギー学習会」

会議年月日	28年7月1日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	いばらぎパッシブハウス
出席者	島田、青木、難波、新美、平手、笠原、春田(記)、高橋 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				

### 議 題

パッシブハウスとは (講師: 島田恵一 島田材木店社長)

①1991年にドイツのパッシブハウス研究所によって確立された省エネ住宅基準です。

躯体の性能を超高気密・高断熱仕様で仕上げ、蓄熱・日射取得・日射遮蔽・通風といったパッシブな手法により、シンプルな設備で省エネかつ快適な温熱環境を達成する家です。

②気密性・蓄熱性が高いため、空気の温度と床・壁・天井の温度が変わらなくなるので、 unnecessary 空気の対流がなくなり、小さなエアコン1台で、真綿で包まれたような温熱環境をつくることできる。

③家そのものの性能を高め、シンプルな設備にすることと、設計的な手法で自然エネルギーをうまく利用することを併せ持った家の違いになります。消費エネルギーは1/3。

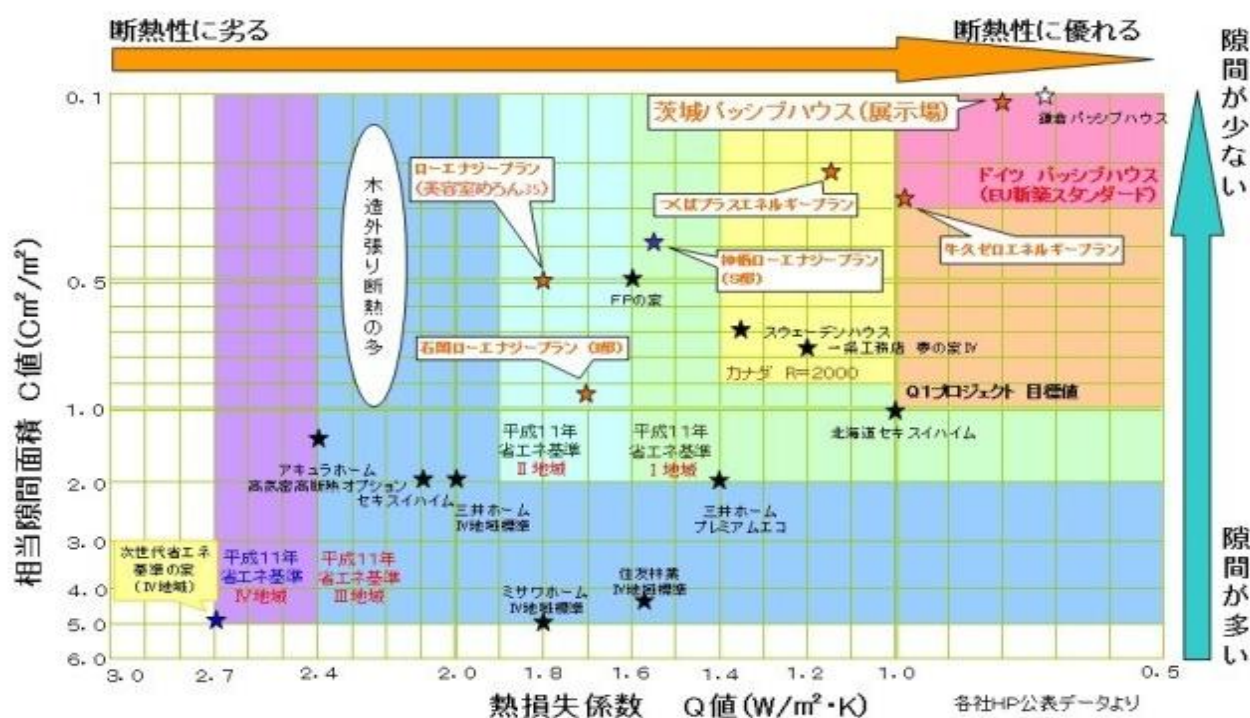
④低燃費の暮らしと温度のバリアフリーから得られる健康、メンテナンスしながら子供たちに受け継がれる家になります。世代ごとの建て替えでなく、受け継ぐことで豊かな暮らしになるでしょう。

⑤以下の3項目をクリアした住宅性能をもつ家をパッシブハウスと呼びます。

①年間冷暖房負荷それぞれ15kWh/m<sup>2</sup>・a

②年間一次エネルギー消費量(家電も含む)120kWh/m<sup>2</sup>(2次エネルギー換算で45kWh/m<sup>2</sup>)

③気密性能として50パスカル加圧および減圧時に漏気回数が0.6回(C値換算で0.2~0.3)



(資料は、同社HPから抜粋)

< 次回の予定 >

平成28年8月5日(金) 13:30~15:30 「手賀沼せっけん工場」見学会

以上





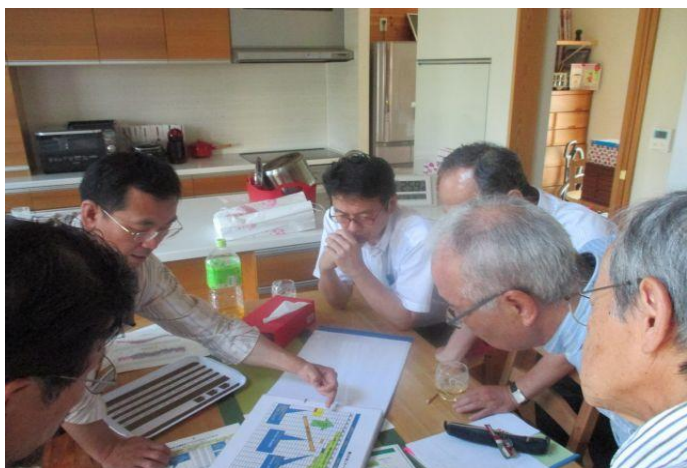
パッシブハウス(常設展示場): 訪問時は外気温30°C-湿度70%であったが室内は25.6°C-55%で超快適であった。



島田社長: 石岡の材木商が何故パッシブハウスを建てたかの経緯からパッシブハウスへの思いを熱く語る。



高性能顕熱型第1種換気システム「Focus200(熱交換効率93%)」(ドイツ製)とチラー(冷却器)。この組合せで室温を一定に保つ。



常設展示場に24h生活しながら実データを収集している。実データによる説明は説得力がある。





いばらきパッシブハウスさんが写真2件を追加しました。

7月2日 11:24 · 🌐

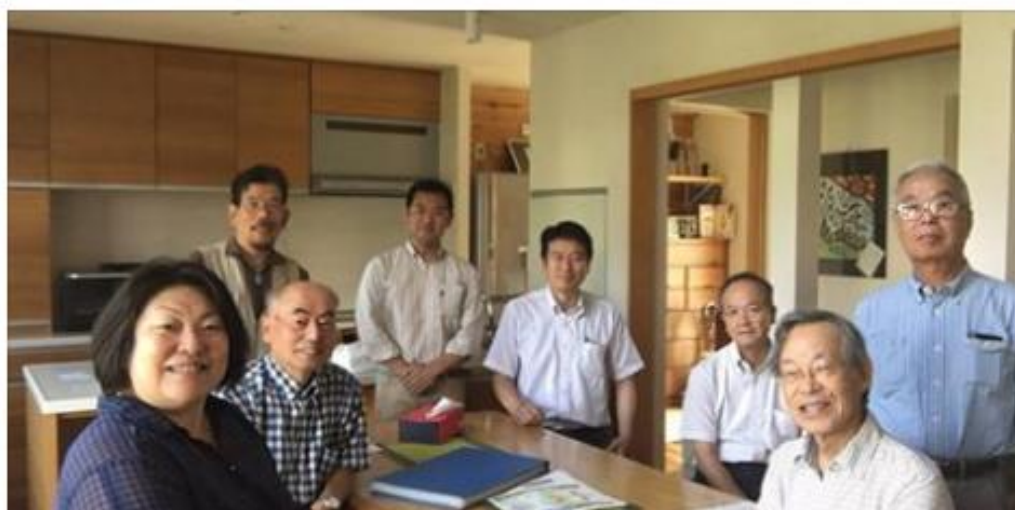
### 茨城パッシブハウスにて勉強会

「NPO温暖化防止ながれやま」の皆様が茨城パッシブハウスにて「省エネルギー学習会」を開催しました。これまで様々なテーマでこういった勉強会を重ねられていて、今回は第108回の学習会とのこと。継続は力なり・・・素晴らしい方々だなと思いました。

今回の内容は、「パッシブハウスとは」というテーマで、年間暖冷房負荷の小さい家、年間一次エネルギー消費量の少ない家、気密性能の高い家を実際に体感しようという企画。

当日は、梅雨の谷間でムシムシする暑さ。外気温度は最高30℃、相対湿度70%、絶対湿度18.85 g/kg。除湿負荷がかかってくる絶対湿度13 g/kgをはるかに超えている不快な状況の中、室内は、室温25.6℃、相対湿度55%、絶対湿度11.323 g/kg。玄関ドアを開け室内に入ると、ひんやり・・・  
こういう状況を、わずかなエネルギーで達成するのがパッシブハウス。我慢をしない省エネを体感いただけました。パッシブハウスは、冬だけでなく、夏も有効です。

現在、茨城パッシブハウスでは、エアコンに頼らない独自の冷房除湿システム（換気風量だけで冷房除湿）で夏を過ごせるか、それを省エネで達成できるかを実験中です。こちらは別途レポートしていきます。



👍 いいね!

💬 コメントする

➦ シェアする



笠原 久恵さんが写真6件を追加しました — 春田 育男さんと一緒  
です。  
36分前 · 🌐

7月1日に温暖化防止ながれやまの省エネ学習会として、いばらきパッシブハウス見学会に参加してまいりました。パッシブハウスとは、ドイツ生まれの世界基準省エネ住宅の考え方です。建物の性能を上げ、極力エネルギーを使わないで快適に暮らせるようにすることが目的です。冷房をアクティブに使い室内環境を向上させる事に対し、パッシブ（受身）とも名付けられています。断熱性と機密性の高さ、空気の循環によって地球に優しく、住んでいる人がヒートショックなどほとんど無い健康的な生活を送れる住宅であると勉強してきました。話を聴くだけではなく、実際に見学出来ましたので、とても良くわかりました。

